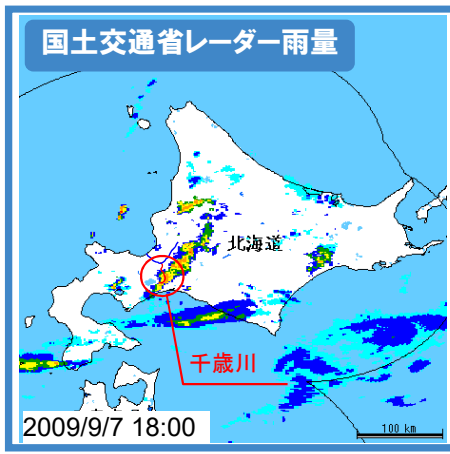


平成21年9月 千歳川流域の局地的豪雨について [速報版]

概要

平成21年9月7日、南からの湿った空気が道内上空に流れ込み、大気が不安定になった影響で、千歳川流域などで局地的にまとまった雨が降りました。そのため、長沼町南長沼雨量観測所において、**7日夜までに約100mmの降雨量を記録し**、千歳川支川の嶮淵川、南九号川、南六号川の水位が大きく上昇しました。
この降雨により、**嶮淵川、ウレロッチ川流域などで浸水被害が発生しました。**



千歳川治水対策による効果

- ① 南6号排水機場による浸水被害軽減
南6号排水機場により、南六号川の流水約32万m³を排水しました。試算では、南六号川流域で約70haの浸水被害を軽減しました。
- ② 嶮淵川河道掘削による水位低減
嶮淵川では、はん濫注意水位を越える出水でした。試算では、河道掘削（平成18年度迄に完了）により、最大で約60cm水位が低下しました。
- ③ 嶮淵右岸地区遊水地(工事中)による浸水被害軽減
工事中の嶮淵右岸地区遊水地の掘削箇所（合計約8.5ha）に、南九号川の流水約15万m³を緊急的に通水して貯留しました。試算では、緊急通水により、南九号川流域で約20haの浸水被害を軽減（遊水地事業区域を除く）しました。

